

議会運営委員会日程

平成30年12月12日（水）
午前10時 502会議室

日程第1 追加議案について

- (1) 議案第195号 神奈川県公安委員会委員の推薦について
- (2) 議案第196号 川崎市市民オンブズマンの選任について

日程第2 意見書案について

- (1) 意見書案第15号 小児がんの治療等特別な理由で抗体が失われた場合のワクチン再接種制度の整備を求める意見書
- (2) 意見書案第16号 認知症施策の推進を求める意見書
- (3) 意見書案第17号 UDタクシー対応乗り場整備への助成拡充及びライドシェア導入の慎重な検討を求める意見書
- (4) 意見書案第18号 休眠預金に係る資金の活用に関する意見書
- (5) 意見書案第19号 消費税の増税の中止を求める意見書

日程第3 12月13日（木）の本会議の運営について

【別紙「12月13日（木）の本会議の議事要領」による】

日程第4 一般質問について

日程第5 交渉会派の人数について

日程第6 議事説明員の出席範囲について

日程第7 その他

小児がんの治療等特別な理由で抗体が失われた場合のワクチン再接種制度の整備を求める意見書

小児がんの治療等特別な理由で予防接種から得た抗体が失われ、感染症予防のためワクチンの再接種が必要となる場合、現行の予防接種法においては定期予防接種の対象外となり、接種費用は任意予防接種として全額自己負担となっている。

再接種は、疾病の治療というやむを得ない事情によること、また、免疫を獲得しておくことは集団予防に寄与することから、本市においては、接種費用の助成制度の構築に向けて検討を行っているところである。

しかしながら、本来、再接種については、個人の感染症予防はもとより感染症の発生及びまん延の予防として公衆衛生上重要であること、健康被害時における救済制度が定期予防接種においては充実していることから、予防接種法において制度化し、定期予防接種と同様に扱うべきである。

よって、国におかれては、特別な理由で抗体が失われた患者へのワクチン再接種に関し、次の事項について特段の措置を講ぜられるよう強く要望するものである。

- 1 予防接種に関する法令を改正し、特別な理由で抗体が失われた患者へのワクチン再接種を国の責任において制度化すること。
- 2 ワクチン再接種の実施に当たっては、被接種者及び保護者への経済的負担を軽減すること。
- 3 ワクチン再接種により健康被害が生じた場合には、定期予防接種と同様に国の救済制度の対象とすること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

年 月 日

議会議長名

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣 宛て
総務大臣
厚生労働大臣

意見書案第16号

認知症施策の推進を求める意見書案の提出について

上記の意見書案を別紙のとおり、川崎市議会会議規則第13条の規定により提出いたします。

平成30年12月10日

川崎市議会議長 松原成文様

提出者 川崎市議会議員 山崎直史

” 沼沢和明

” 山田益男

” 市古映美

認知症施策の推進を求める意見書

世界に類例を見ないスピードで高齢化が進む我が国において、認知症の人は年々増え続け、2015年の推計が約525万人であったものが、2025年には推計で700万人を突破し、軽度認知障害の人も含めれば2012年時点で900万人を超えるといわれているなど、今や認知症は、誰でも発症する可能性があり、誰もが介護者となり得ると言え、認知症施策の推進は極めて重要である。

認知症施策の推進に当たっては、認知症と診断されても尊厳をもって生きることができ、社会の実現を目指し、当事者の意思を大切に、家族等も寄り添っていく姿勢で臨めるようにすることが重要であり、また、認知症と診断された直後の対応など、これまで十分に組み込まれてこなかった課題にも踏み込んでいく必要がある。

さらに、認知症施策は、認知症の早期発見・診断、初期の相談と家族への支援から終末期のケア・看取りまで切れ目なく治療と支援を行うとともに、医療、保健、福祉等の関連分野における総合的な取組が必要である。

よって、国におかれては、認知症施策を更に推進するため、次の事項について特段の措置を講ぜられるよう強く要望するものである。

- 1 国や自治体を始め企業や地域が力を合わせ、認知症の人や家族等を支える社会を構築するため、認知症施策を総合的かつ計画的に推進する基本法を制定すること。
- 2 認知症の有効な予防法の確立や行動・心理症状に適切な対応が行われるよう全国規模の疫学調査と疾患登録に基づくビッグデータを活用するとともに、次世代認知症治療薬の開発・早期実用化や最先端の技術を活用した早期診断法の研究開発及び認知症の人の心身の特性に応じたリハビリや介護方法に関する研究を進めること。
- 3 認知症診断直後に相談できる人がいないといった空白期間において必要な支援や情報提供を行うこと、かかりつけ医による認知症診断の促進等の認知症の早期発見・診断に向けた取組を強化すること、自治体が設置する認知症疾患医療センターに対する支援を充実させることなど、多様な認知症施策を推進すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

年 月 日

議会議長名

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣 宛て
総務大臣
財務大臣
厚生労働大臣

意見書案第17号

UDタクシー対応乗り場整備への助成拡充及びライドシェア導入の慎重な検討を求める意見書案の提出について

上記の意見書案を別紙のとおり、川崎市議会会議規則第13条の規定により提出いたします。

平成30年12月10日

川崎市議会議長 松原成文様

提出者 川崎市議会議員 山崎直史

” 沼沢和明

” 山田益男

” 市古映美

UDタクシー対応乗り場整備への助成拡充及びライドシェア導入の慎重な検討を求める意見書

タクシーは、市民にとって身近な交通機関として日常生活や経済活動等を支える重要な公共交通の役割を担っているところ、本市は、平成25年7月から全国に先駆けて、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインタクシー（UDタクシー）に対応した乗り場の整備を進めてきたが、駅前開発等に併せてUDタクシー対応乗り場を整備する場合には国庫補助が活用できるものの、通常のタクシー乗り場をUDタクシー対応乗り場に整備する場合には原則として本市の自主財源で対応している。

しかしながら、UDタクシー対応乗り場の整備は、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックに向けて喫緊の課題であり、国からの助成の拡充が求められている。

一方、国においてはシェアリングエコノミー検討会議を設置し、自家用自動車を用いて有償で運送を行うサービスであるライドシェアを含めた検討を行っており、さらに、規制改革推進会議においてもライドシェアを含めた議論がなされている。

このライドシェアについては、道路運送法に抵触するタクシー類似行為、いわゆる白タク行為に該当するとの指摘があり、運行管理や車両整備等の責任を負う主体を置かず自家用自動車のドライバーのみが運送責任を負う形態であるため、安全確保や利用者保護等の観点から大きな問題が生ずる懸念も指摘されている。

よって、国におかれては、大都市における安全・安心で利便性の高い地域交通の実現に向けて、次の事項について特段の措置を講ぜられるよう強く要望するものである。

- 1 子育て世帯から高齢者、障害者を始め、誰もが安全・安心で快適に移動できるよう、UDタクシー対応乗り場の整備に対する助成を拡充すること。
- 2 ライドシェアは、利用者の安全・安心に極めて大きな懸念があり、その検討も含めて適切かつ慎重に対応すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

年 月 日

議会議長名

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

総務大臣

宛て

財務大臣

国土交通大臣

国家公安委員会委員長

意見書案第18号

休眠預金に係る資金の活用に関する意見書案の提出について

上記の意見書案を別紙のとおり、川崎市議会会議規則第13条の規定により提出いたします。

平成30年12月10日

川崎市議会議長 松原成文様

提出者	川崎市議会議員	市古映美
	〃	勝又光江
	〃	宗田裕之
	〃	石田和子
	〃	斉藤隆司
	〃	石川建二
	〃	井口真美
	〃	大庭裕子
	〃	渡辺学
	〃	片柳進

休眠預金に係る資金の活用に関する意見書

国は、民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律を来年1月から全部施行し、10年以上放置された休眠預金を民間の団体が行う公益に資する活動の促進に活用することとしている。

休眠預金は毎年700億円発生しており、総額約6,000億円、対象は6,000万口座に上る見通しであるが、本人が気付かなければ、預金は金融機関から預金保険機構に移管され、本人に戻らないケースが出てくることとなり、加えて住所変更や認知症の発症など対応が困難な場合もある。

休眠預金に係る資金の活用に関して、国会審議でも子ども及び若者の支援等の3分野に限定するなど様々な問題点が指摘されているが、問題点の第1は、預金保険機構から資金の交付を受ける指定活用団体の権限が極めて大きく、当該団体が行う資金分配団体への資金の助成又は貸付けによっては市民が行う自由な社会貢献活動を阻害する危険性があること、第2は、小規模で優良な団体が、資金の活用に関して求められる革新性、成果志向、社会的インパクト評価によって排除される危険性があること、第3は、法律に対する国民の認知度が低く、広く一般に認識されているとはいえないことである。

よって、国におかれては、市民が行う公益に資する活動の促進に休眠預金が適切に活用されるため、次の事項について特段の措置を講ぜられるよう強く要望するものである。

- 1 小規模な団体や当事者団体の社会における価値を見いだし、正當に評価した上で、休眠預金を活用して、それらの活動を支えること。
- 2 社会に散在している諸課題に対応するために、地域性や分野・テーマ、目的などを考慮して、多様な資金分配団体を多数選定すること。
- 3 休眠預金に係る資金の活用について国民へ周知するとともに、金融機関に対し払戻しに関する指導を徹底すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

年 月 日

議会議長名

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣 宛て
総務大臣
財務大臣

意見書案第19号

消費税の増税の中止を求める意見書案の提出について

上記の意見書案を別紙のとおり、川崎市議会会議規則第13条の規定により提出いたします。

平成30年12月10日

川崎市議会議長 松原成文様

提出者	川崎市議会議員	市古映美
	〃	勝又光江
	〃	宗田裕之
	〃	石田和子
	〃	斉藤隆司
	〃	石川建二
	〃	井口真美
	〃	大庭裕子
	〃	渡辺学
	〃	片柳進

消費税の増税の中止を求める意見書

内閣総理大臣は、本年10月15日に行われた臨時閣議において、来年10月から予定どおり消費税を10%に増税することを表明した。

本年11月に公表された総務省の家計調査によると、2人以上世帯の実質家計消費は、平成26年4月に消費税の税率が5%から8%へ増税された後、多くの月で前年比マイナスとなっており、消費不況が長期にわたって続く中で5兆円もの増税をすれば、貧困層を拡大させるだけでなく、日本経済に多大な悪影響を与えることは明らかである。

政府は、増税の影響を抑えるとして、ポイント還元、プレミアム商品券、複数税率の導入などを検討しているが、いずれも事業者の事務が煩雑になるなどかえって経済を混乱させるものである。

さらに、複数税率の導入に伴い、増税から4年後に導入が予定されているインボイス制度は、中小企業や雇用契約のない請負労働者、建築職人などの500万ともいわれる免税事業者が取引から排除されることになるか、納税義務と煩雑な事務負担を伴う課税業者にならざるを得なくなるかを迫られるなどの深刻な問題があり、消費税の増税には賛成している日本商工会議所や中小企業団体、全国商工団体連合会等もこれに反対している。

よって、国におかれては、日本経済への多大な悪影響を避けるとともに、中小企業等の持続的な営業活動を守るため、消費税の増税を中止されるよう強く要望するものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

年 月 日

議会議長名

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣 宛て

総務大臣

財務大臣

12月13日（木）の本会議の議事要領

1

日程第1	一般議案	36件	} 一括上程
日程第2	報告	1件	
日程第3	請願	5件	

(1) 委員長報告（日程第1、第3の各案件）

総務、文教、健康福祉、まちづくり、環境委員長の順
～ 委員長報告に対する質疑 ～

(2) 討論（日程第1、第3の各案件）

[日程第2の報告に対するご意見などがあれば、併せてお願いする。発言は、今議会の発言順]

(3) 採決

- ① 日程第1の議案36件中、次の議案8件を除いた28件を起立により一括採決
議案第160号 川崎市老人福祉センター条例の一部を改正する条例の制定について
議案第161号 川崎市久末老人デイサービスセンター条例を廃止する条例の制定について
議案第162号 川崎市障害者就労支援施設条例の一部を改正する条例の制定について
議案第165号 川崎市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について
議案第167号 川崎市屋外広告物条例の一部を改正する条例の制定について
議案第171号 東扇島堀込部井筒式護岸築造その2工事請負契約の締結について
議案第172号 東扇島堀込部ケーソン製作その1工事請負契約の締結について
議案第183号 南部地域療育センターの指定管理者の指定について
- ② 除いた議案第160号、第161号、第162号、第165号、第167号、第171号、第172号及び第183号の8件を起立により一括採決
- ③ 日程第3の請願5件中、請願第7号、第40号及び第47号の請願3件を起立により一括採決
請願第7号 建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書提出を求める請願
請願第40号 教育格差をなくし、「ゆきとどいた教育」を求める請願
請願第47号 川崎市中原消防団住吉分団市ノ坪班器具置場の既存施設の活用に関する請願
- ④ 請願第50号を起立により採決
請願第50号 公的年金の毎月支給を求める意見書を国に提出することに関する請願
- ⑤ 請願第51号を起立により採決
請願第51号 横浜市営地下鉄3号線の延伸に伴う中間駅の設置に関する請願

2

日程第4

議案第195号 神奈川県公安委員会委員の推薦について
[上程、提案説明、自席質疑（ご意見等も含む。）の後、直ちに起立により採決]

3

日程第5

議案第196号 川崎市市民オンブズマンの選任について
[上程、提案説明、自席質疑（ご意見等も含む。）の後、直ちに起立により採決]

日程第6

- 意見書案第15号 小児がんの治療等特別な理由で抗体が失われた場合のワクチン再接種制度の整備を求める意見書
- 意見書案第16号 認知症施策の推進を求める意見書
- 意見書案第17号 UDタクシー対応乗り場整備への助成拡充及びライドシェア導入の慎重な検討を求める意見書

一括
上程

- ① 意見書案第15号及び第16号を書記朗読等を省略し、直ちに起立により一括採決
- ② 意見書案第17号を書記朗読等を省略し、直ちに起立により採決

意見書案第18号 休眠預金に係る資金の活用に関する意見書

[上程、提案説明、自席質疑（討論）の後、直ちに起立により採決]

意見書案第19号 消費税の増税の中止を求める意見書

[上程、提案説明、自席質疑（討論）の後、直ちに起立により採決]

平成30年第4回川崎市議会定例会
議事日程第5号

平成30年12月13日(木)
午前10時 開 議

第 1

- 議案第157号 川崎市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について
議案第158号 学校教育法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
議案第159号 川崎市動物愛護センター条例の一部を改正する条例の制定について
議案第160号 川崎市老人福祉センター条例の一部を改正する条例の制定について
議案第161号 川崎市久未老人デイサービスセンター条例を廃止する条例の制定について
議案第162号 川崎市障害者就労支援施設条例の一部を改正する条例の制定について
議案第163号 川崎市地区計画の区域内における建築物等の形態意匠の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第164号 川崎市地区計画の区域内における建築物に係る制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第165号 川崎市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について
議案第166号 川崎市墓地条例の一部を改正する条例の制定について
議案第167号 川崎市屋外広告物条例の一部を改正する条例の制定について
議案第168号 川崎市学校給食センター条例の一部を改正する条例の制定について
議案第169号 川崎市議会議員及び川崎市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第170号 当せん金付証票発売の限度額について
議案第171号 東扇島堀込部井筒式護岸築造その2工事請負契約の締結について
議案第172号 東扇島堀込部ケーソン製作その1工事請負契約の締結について
議案第173号 市道路線の認定及び廃止について
議案第174号 黒川宮添特別緑地保全地区用地の取得について
議案第175号 (仮称)川崎市南部学校給食センター整備等事業の契約の変更について
議案第176号 (仮称)川崎市中部学校給食センター整備等事業の契約の変更について
議案第177号 (仮称)川崎市北部学校給食センター整備等事業の契約の変更について
議案第178号 川崎市大山街道ふるさと館の指定管理者の指定について
議案第179号 川崎市産業振興会館の指定管理者の指定について
議案第180号 川崎市余熱利用市民施設の指定管理者の指定について
議案第181号 川崎市櫛リサイクルコミュニティセンターの指定管理者の指定について
議案第182号 陽光ホームの指定管理者の指定について
議案第183号 南部地域療育センターの指定管理者の指定について
議案第184号 川崎市視覚障害者情報文化センターの指定管理者の指定について
議案第185号 川崎市老人いこいの家の指定管理者の指定について
議案第186号 川崎市老人福祉センター及び川崎市老人福祉・地域交流センターの指定管理者の指定について
議案第187号 川崎市子ども文化センター及び川崎市ふれあい館の指定管理者の指定について
議案第188号 川崎市黒川青少年野外活動センターの指定管理者の指定について
議案第189号 多摩川緑地パークボール場の指定管理者の指定について
議案第190号 川崎市港湾振興会館及び東扇島中公園の指定管理者の指定について
議案第191号 平成30年度川崎市一般会計補正予算
議案第192号 平成30年度川崎市生田緑地ゴルフ場事業特別会計補正予算

第 2

- 報告第 20号 地方自治法第180条の規定による市長の専決処分報告について

第 3

- 請願第 7号 建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書提出を求める請願
請願第 40号 教育格差をなくし、「ゆきとどいた教育」を求める請願
請願第 47号 川崎市中原消防団住吉分団市ノ坪班器具置場の既存施設の活用に関する請願
請願第 50号 公的年金の毎月支給を求める意見書を国に提出することに関する請願
請願第 51号 横浜市営地下鉄3号線の延伸に伴う中間駅の設置に関する請願

第 4

議案第195号 神奈川県公安委員会委員の推薦について

第 5

議案第196号 川崎市市民オンブズマンの選任について

第 6

意見書案第15号 小児がんの治療等特別な理由で抗体が失われた場合のワクチン再接種制度の整備を求める意見書
意見書案第16号 認知症施策の推進を求める意見書
意見書案第17号 UDタクシー対応乗り場整備への助成拡充及びライドシェア導入の慎重な検討を求める意見書
意見書案第18号 休眠預金に係る資金の活用に関する意見書
意見書案第19号 消費税の増税の中止を求める意見書

平成30年12月10日

川崎市議会議長

松原成文様

総務委員長

山田益男

総務委員会審査報告書（議案）

本委員会に付託された下記の議案を審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第77条の規定により報告します。

記

議案第157号 川崎市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について
(原案可決)

議案第158号 学校教育法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
(総務企画局に関する部分) (原案可決)

議案第169号 川崎市議会議員及び川崎市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について
(原案可決)

議案第170号 当せん金付証票発売の限度額について
(原案可決)

議案第179号 川崎市産業振興会館の指定管理者の指定について
(原案可決)

議案第191号 平成30年度川崎市一般会計補正予算
(原案可決)

平成30年12月7日

川崎市議会議長
松原成文様

文教委員長
片柳進

文教委員会審査報告書（議案）

本委員会に付託された下記の議案を審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第77条の規定により報告します。

記

- 議案第168号 川崎市学校給食センター条例の一部を改正する条例の制定について (原案可決)
- 議案第175号 (仮称)川崎市南部学校給食センター整備等事業の契約の変更に
ついて (原案可決)
- 議案第176号 (仮称)川崎市中部学校給食センター整備等事業の契約の変更に
ついて (原案可決)
- 議案第177号 (仮称)川崎市北部学校給食センター整備等事業の契約の変更に
ついて (原案可決)
- 議案第178号 川崎市大山街道ふるさと館の指定管理者の指定について
(原案可決)
- 議案第187号 川崎市こども文化センター及び川崎市ふれあい館の指定管理者の
指定について (原案可決)
- 議案第188号 川崎市黒川青少年野外活動センターの指定管理者の指定について
(原案可決)

平成30年12月7日

川崎市議会議長
松原成文様

健康福祉委員長
田村伸一郎

健康福祉委員会審査報告書（議案）

本委員会に付託された下記の議案を審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第77条の規定により報告します。

記

- 議案第158号 学校教育法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
（健康福祉局に関する部分） （原案可決）
- 議案第159号 川崎市動物愛護センター条例の一部を改正する条例の制定について
（原案可決）
- 議案第160号 川崎市老人福祉センター条例の一部を改正する条例の制定について
（原案可決）
- 議案第161号 川崎市久末老人デイサービスセンター条例を廃止する条例の制定について
（原案可決）
- 議案第162号 川崎市障害者就労支援施設条例の一部を改正する条例の制定について
（原案可決）
- 議案第182号 陽光ホームの指定管理者の指定について
（原案可決）
- 議案第183号 南部地域療育センターの指定管理者の指定について
（原案可決）
- 議案第184号 川崎市視覚障害者情報文化センターの指定管理者の指定について
（原案可決）

議案第185号 川崎市老人いこいの家の指定管理者の指定について
(原案可決)

議案第186号 川崎市老人福祉センター及び川崎市老人福祉・地域交流センター
の指定管理者の指定について (原案可決)

平成30年12月7日

川崎市議会議長

松原成文様

まちづくり委員長

堀添健

まちづくり委員会審査報告書（議案）

本委員会に付託された下記の議案を審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第77条の規定により報告します。

記

議案第163号 川崎市地区計画の区域内における建築物等の形態意匠の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について（原案可決）

議案第164号 川崎市地区計画の区域内における建築物に係る制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について（原案可決）

議案第165号 川崎市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について（原案可決）

議案第166号 川崎市墓地条例の一部を改正する条例の制定について（原案可決）

議案第167号 川崎市屋外広告物条例の一部を改正する条例の制定について（原案可決）

議案第173号 市道路線の認定及び廃止について（原案可決）

議案第174号 黒川宮添特別緑地保全地区用地の取得について（原案可決）

議案第189号 多摩川緑地パークボール場の指定管理者の指定について（原案可決）

議案第192号 平成30年度川崎市生田緑地ゴルフ場事業特別会計補正予算
(原案可決)

平成30年12月7日

川崎市議会議長
松原成文様

環境委員長
廣田健一

環境委員会審査報告書（議案）

本委員会に付託された下記の議案を審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第77条の規定により報告します。

記

- 議案第158号 学校教育法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
（環境局及び上下水道局に関する部分） （原案可決）
- 議案第171号 東扇島堀込部井筒式護岸築造その2工事請負契約の締結について
（原案可決）
- 議案第172号 東扇島堀込部ケーソン製作その1工事請負契約の締結について
（原案可決）
- 議案第180号 川崎市余熱利用市民施設の指定管理者の指定について
（原案可決）
- 議案第181号 川崎市橘リサイクルコミュニティセンターの指定管理者の指定について
（原案可決）
- 議案第190号 川崎市港湾振興会館及び東扇島中公園の指定管理者の指定について
（原案可決）

平成30年12月7日

川崎市議会議長
松原成文様

文教委員長
片柳進

文教委員会審査報告書（請願）

本委員会に付託された下記の請願を審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第77条及び第94条の規定により報告します。

記

請願第40号 教育格差をなくし、「ゆきとどいた教育」を求める請願
(取り下げ)

請願第47号 川崎市中原消防団住吉分団市ノ坪班器具置場の既存施設の活用に関する請願
(取り下げ)

平成30年12月7日

川崎市議会議長
松原成文様

健康福祉委員長
田村伸一郎

健康福祉委員会審査報告書（請願）

本委員会に付託された下記の請願を審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第77条及び第94条の規定により報告します。

記

請願第50号 公的年金の毎月支給を求める意見書を国に提出することに関する請願
(不採択)

平成30年12月7日

川崎市議会議長

松原成文様

まちづくり委員長

堀添健

まちづくり委員会審査報告書（請願）

本委員会に付託された下記の請願を審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第77条及び第94条の規定により報告します。

記

請願第51号 横浜市営地下鉄3号線の延伸に伴う中間駅の設置に関する請願
（採 択）

平成30年12月7日

川崎市議会議長

松原成文様

環境委員長

廣田健一

環境委員会審査報告書（請願）

本委員会に付託された下記の請願を審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第77条及び第94条の規定により報告します。

記

請願第7号 建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書提出を求める請願
(取り下げ)

代表討論通告書

平成30年12月11日

川崎市議会議長 様

会派名 みらい

討論者氏名 押本 吉司

時 間 5 分

次のとおり代表討論を行いますので、会議規則第49条の規定により通告します。

議 案 (請願を含む)	
反 対 討 論	
賛 成 討 論	議案第183号 南部地域療育センターの指定管理者の指定について
報 告	



代表討論通告書

平成30年12月11日

川崎市議会議長 様

会派名 日本共産党
 討論者氏名 渡辺 学
 時 間 10分

次のとおり代表討論を行いますので、会議規則第49条の規定により通告します。

議 案 (請願を含む)	
反 対 討 論	議案第160号 川崎市老人福祉センター条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第161号 川崎市久未老人デイサービスセンター条例を廃止する条例の制定について
	議案第162号 川崎市障害者就労支援施設条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第165号 川崎市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第167号 川崎市屋外広告物条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第171号 東扇島堀込部井筒式護岸築造その2工事請負契約の締結について
	議案第172号 東扇島堀込部ケーソン製作その1工事請負契約の締結について
	議案第183号 南部地域療育センターの指定管理者の指定について
賛 成 討 論	請願第50号 公的年金の毎月支給を求める意見書を国に提出することに関する請願
報 告	



発言通告書

平成30年12月10日

川崎市議会議長 様

会 派 名 日本共産党

発言者氏名 宗 田 裕 之

予定時間 5分

次のとおり発言を行いますので、会議規則第49条の規定により通告します。

発 言 項 目
意見書案第18号の提案説明
(休眠預金に係る資金の活用に関する意見書)



発言通告書

平成30年12月10日

川崎市議会議長 様

会派名 日本共産党

発言者氏名 石川 建二

予定時間 5分

次のとおり発言を行いますので、会議規則第49条の規定により通告します。

発言項目
意見書案第19号の提案説明
(消費税の増税の中止を求める意見書)



平成30年第4回川崎市議会定例会
議事日程第9号

平成30年12月19日(水)
午前10時 開 議

第 1

一 般 質 問

第 2

請 願 ・ 陳 情

第 3

閉会中の継続審査及び調査について

閉会中の継続審査及び調査申し出一覧表

平成30年12月19日

<p>《 総務委員会 》 陳情第1号、28号、70号、75号、85号 総務企画局、財政局、経済労働局、臨海部国際戦略本部及びその他の行政について</p>
<p>《 文教委員会 》 請願第43号 陳情第5号、59号、62号、79号、95号、96号、123号 市民文化局、こども未来局及び教育委員会の行政について</p>
<p>《 健康福祉委員会 》 請願第4号、13号 陳情第49号、72号、107号、126号 健康福祉局、病院局及び消防局の行政について</p>
<p>《 まちづくり委員会 》 請願第2号、3号、9号、23号、44号、48号、49号、52号 陳情第2号、18号、29号、40号、50号、52号、56号、60号、61号、73号、 81号、82号、83号、84号、86号、87号、97号、117号、118号、122号、 124号 まちづくり局及び建設緑政局の行政について</p>
<p>《 環境委員会 》 陳情第3号、4号、57号、116号、128号、130号 環境局、港湾局、上下水道局及び交通局の行政について</p>
<p>《 議会運営委員会 》 請願第35号 議会の運営に関する事項 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項 議長の諮問に関する事項</p>

平成30年第4回定例会一般質問者一覧(案)

発言通告締切日 平成30年12月10日(月) 午後1時

会派 月日	自 民 党	公 明 党	み ら い	共 産 党	無 所 属
12/14 (金) (14人)	* 本間賢次郎	* 河野ゆかり	* 飯塚正良	* 井口真美	
	* 老沼 純	* 田村伸一郎	* 木庭理香子	* 勝又光江	
	* 石田康博		* 堀添 健		
	* 橋本 勝				* 重富達也
					* 添田 勝
					* 佐野仁昭
12/17 (月) (14人)	* 野田雅之	* かわの忠正	* 松井孝至	* 渡辺 学	
	* 斎藤伸志	* 春 孝明	* 露木明美	* 市古映美	
	* 青木功雄	* 浜田昌利		* 石田和子	
	* 矢沢孝雄				* 小田理恵子
					* 渡辺あつ子
12/18 (火) (13人)	* 末永 直	* 川島雅裕	* 押本吉司	* 大庭裕子	
	* 原 典之	* 菅原 進	* 山田益男	* 宗田裕之	
	* 廣田健一	* 花輪孝一	* 林 敏夫		* 月本琢也
					* 三宅隆介
12/19 (水) (12人)	* 山崎直史	* 岩崎善幸	* 岩隈千尋	* 片柳 進	
	* 大島 明	* 山田晴彦	* 織田勝久	* 石川建二	
	* 浅野文直	* 沼沢和明	* 雨笠裕治		
	* 嶋崎嘉夫				
53人	15人	11人	11人	9人	7人

* 印は一問一答方式

平成30年第4回定例会一般質問発言要旨(発言順)

平成30年12月14日(金)

*印は一問一答方式

順序	発言者	要旨	答弁者
1	* 本間 賢次郎	① 港湾・臨海部のにぎわい創出について	市長 建設 港湾 臨海 関係局
2	* 河野 ゆかり	① 通学路等の安全対策について ・安全点検 ・大雪対策	建設 宮前 多摩 教次長 危機監 関係局
		② 高齢者支援について	副市長 健福 関係局
		③ 災害時の対策について	総企 危機監 関係局
		④ 生田浄水場の有効利用に関する整備計画について	水管者 関係局
		⑤ 本市における科学技術の普及啓発と市有財産への導入について	市長 総企 環境 まち 病院 教次長 関係局
3	* 飯塚 正良	① 町名変更について	市民 関係局
		② 商店街モール補修について	経労 建設 関係局
		③ 那覇市虎瀬公園の佐藤惣之助詩歌碑の首里城への移設について	市長 教育長 市民 関係局
		④ ヘイトスピーチについて	市長 市民 関係局
4	* 井口 真美	① 図書館分館の整備について	教育長 教次長 関係局
		② 河川管理について	建設 関係局
		③ 南武線駅アクセス向上等整備事業について	まち 関係局
		④ 水道の民営化・広域化について	市長 水管者 関係局
		⑤ コミュニティ交通について	まち 関係局
		⑥ 商店街支援について	経労 関係局
5	* 老沼 純	① 市の今後の財政運営について ・不交付団体の影響 ・超高齢社会の見通し	総企 財政 関係局
		② 超高齢社会に向けたまちづくりについて ・まち・ひと・しごと創生総合戦略	総企 まち 関係局
		③ 自家用有償旅客運送について	健福 まち 関係局
		④ 川崎市農業振興計画について ・農福連携、食農教育 ・将来を見据えた展開	副市長 教育長 経労 健福 教次長 関係局
6	* 田村 伸一郎	① 産前産後支援について	健福 こども 病院 関係局
		② 聴覚障がい者支援について	副市長 健福 病院 関係局
		③ 英語教育(フォニックス)について	教次長 関係局

* 印は一問一答方式

順序	発言者	要 旨	答 弁 者
7	* 木庭理香子	① 歩道の照明環境改善について	市民建設 関係局
		② 民生委員児童委員について	副市長 健福 消防関係局
		③ 市政だよりについて	副市長 総企 関係局
		④ 川崎市歌について	総企 関係局
8	* 勝又光江	① 生活保護世帯のエアコン設置について	健福 関係局
		② 再生可能エネルギーの普及の促進について ・小中学校への設置と小規模太陽光発電の家庭設置	環 境 関係局
		③ 通学路の安全対策について	建 設 教次長 関係局
		④ 災害時の避難場所について	総 企 経 労 関係局
		⑤ 市民生活を支える公共交通の強化について ・バスの減便問題 ・コミュニティバスの導入	ま ち 交 通 関係局
9	* 石田康博	① 宮前区内3駅の駐輪場対策について	建 設 関係局
		② 犯罪被害者等への支援について	市 民 関係局
		③ 川崎市官民データ活用推進計画(案)について	総 企 関係局
		④ 防災訓練について	総 企 消 防 危機監 関係局
10	* 堀添健	① 私道におけるインフラの適正管理について	水管者 関係局
		② 条例による罰則規定の運用実態について	市 長 総 企 関係局
		③ 障害を持つ職員への合理的配慮について	市 長 教育長 総 企 関係局
		④ 避難行動要支援者への支援について	健 福 危機監 関係局
11	* 橋本勝	① 街路樹について	建 設 関係局
		② 川崎市都市計画マスタープランについて	ま ち 関係局
		③ バス路線について	交 通 関係局
12	* 重富達也	① 放置自転車対策の効率化について	建 設 関係局
		② イベントに伴う道路占用・使用について	建 設 関係局
		③ 市政だよりの再編について	総 企 関係局
13	* 添田勝	① 災害時要援護者の避難等について	健 福 関係局
		② 市営住宅の駐車場の利活用について	ま ち

* 印は一問一答方式

順序	発言者	要 旨	答 弁 者
14	* 佐野 仁昭	① 地域包括ケアシステムについて ・制度やシステムから「こぼされている」事例に対応しての対応 ・多職種連携 ・川崎市在宅療養連携ノートの活用	市長 健福 こども 消防
		② 行政歯科衛生士について	健 福
		③ 京急大師線沿線のまちづくりについて ・大師河原歩道橋の架け替え ・東門前駅前の歩行者の安全対策 ・大師線沿線居住者の高齢者外出支援乗車事業	健 福 ま ち 建 設

平成30年第4回定例会一般質問発言要旨(発言順)

平成30年12月17日(月)

*印は一問一答方式

順序	発言者	要 旨	答 弁 者
1	* 野田 雅之	① 防犯の取組について	市民 関係局
		② 等々力陸上競技場第2期整備について	建設 関係局
		③ 市立小学校におけるフッ化物洗口の導入について	市長 教次長 関係局
		④ 路線バスの利便性向上について	交通 関係局
2	* かわの 忠正	① 障がい者支援策について	市長 健 福 まち 関係局
		② 川崎駅周辺の交通環境整備について	市長 まち 建設 交通 関係局
		③ 市営住宅の改善について	市長 こども まち 関係局
		④ 狭い歩道の拡幅について	市長 建設 関係局
3	* 松井 孝至	① 自転車のカギかけについて	市民 建設 関係局
		② 町内会及び自治会所有の掲示板への対応について	市民 関係局
		③ 危険と判定されたバス停への対応について	交通 関係局
		④ 特定疾患医療給付制度について	健 福 関係局
4	* 渡辺 学	① 国民健康保険加入者の特定健康診査費用について	健 福 関係局
		② バス停留所へのベンチ設置について	健 福 まち 交通 関係局
		③ 新川崎駅前のタクシー待ち解消について	まち 関係局
		④ 多摩川小向町河川敷の活用について	建設 関係局
5	* 斎藤 伸志	① 公園トイレの清掃等の管理体制について	建設 関係局
		② 中小企業の事業承継支援について	経 労 関係局
6	* 春 孝明	① 狭あい道路について	まち 関係局
		② 高齢者支援について ・ひとり暮らし高齢者対策	健 福 関係局
		③ マイナンバーカードについて	市民 関係局
		④ 災害時における医療情報について	病管者 健 福 病院 関係局
7	* 露木 明美	① 長沢浄水場広報施設と本市の水道事業について	水管者 関係局
		② 緑ヶ丘霊園の樹木について	建設 関係局
		③ ドローンの活用について	総 企 消 防 関係局
8	* 市古 映美	① 障がい者水泳における練習場所について	市民 健 福 関係局
		② 業務委託の入札について	財 政 関係局
		③ ホームヘルプ事業について	健 福 関係局
		④ 避難所における公衆電話の設置について	危機監 関係局
		⑤ 小杉のまちづくりについて	市長 まち 関係局

* 印は一問一答方式

順序	発言者	要 旨	答 弁 者
9	* 青木 功雄	① 学校トイレの洋式化について	ま ち 教次長 関係局
		② 都市力ランキングについて	総 企 関係局
		③ 収支改善・利便性向上に向けたバス乗降データの見 える化について	ま ち 関係局
		④ 認定こども園の保育料体系の見直しについて	こども 関係局
10	* 浜田 昌利	① 遺族の手續のワンストップ化について	市 長 副市長 市 民 関係局
		② 精神・知的障がい者の雇用について	市 長 副市長 総 企 健 福 関係局
		③ 読書のまち・かわさきについて	市 長 副市長 教育長 教次長 関係局
		④ 高校生の退学防止・復学支援について	市 長 副市長 教育長 教次長 関係局
11	* 石田 和子	① 南武線駅アクセス向上等整備事業（津田山駅・久地 駅）について	ま ち 関係局
		② こども・若者の未来応援プランについて ・（仮称）保育・子育て総合支援センター ・待機児童解消策等	こども 関係局
		③ 学校施設の空調整備について	教次長 関係局
		④ 車イスで通行できない斜面歩道の改善について	建 設 関係局
		⑤ 川崎市敬老祝事業について	健 福 関係局
12	* 矢沢 孝雄	① 障害者グループホームの待機者数について	健 福 関係局
		② 大雪対策・道路除雪計画等について	総 企 建 設 関係局
		③ 学校給食における市内産農産物の使用状況につい て	経 労 教次長 関係局
		④ 多世代同居・近居の取組について	ま ち 関係局
		⑤ 情報セキュリティ対策等について	総 企 関係局
13	* 小田理恵子	① マイクロプラスチック対策について	水管者 環 境 関係局
		② 保育所内虐待への対応について	市 長 こども 関係局
		③ 就労移行支援事業について	健 福 関係局
14	* 渡辺あつ子	① 公文書管理について	総 企 関係局
		② 香害について	市 長 経 労 環 境 健 福 教次長 関係局
		③ 下水汚泥焼却灰の処理について	水管者 環 境 関係局
		④ 介護保険における訪問介護の回数制限について	健 福 関係局

平成30年第4回定例会一般質問発言要旨(発言順)

平成30年12月18日(火)

*印は一問一答方式

順序	発言者	要 旨	答 弁 者
1	*末永 直	① ウェルフェアイノベーションの推進について ・かわさき基準(K I S)認証福祉製品の導入等	市長 経 労 健 福 中 原 関係局
		② 家庭教育支援の取組について	教育長 教次長 関係局
		③ 小中学校給食廃棄物の有効利用について	教育長 環 境 教次長 関係局
		④ 歩行者の防犯・安全対策について	建 設 中 原 関係局
		⑤ 投票所の人員体制について	選 管 関係局
2	*川島 雅裕	① 踏切対策について ・中丸子跨線人道橋 ・東京急行東横線武蔵小杉1号踏切	ま ち 建 設 関係局
		② 地域包括ケアシステムについて ・見守りと安否確認(孤独死対策) ・ヘルプマークの普及	健 福 関係局
		③ 特別養護老人ホームの老朽化対策について	健 福 関係局
		④ 水道管の耐震化について	水管者 関係局
		⑤ 5Gの活用について	総 企 関係局
3	*押本 吉司	① 中原区「丸子地区」の浸水対策について	水管者 関係局
		② 等々力緑地の「マーケットサウンディング」の実施について	市 長 建 設 関係局
		③ 公園でのルール作りのガイドライン(ボール遊び)について	教育長 建 設 中 原 教次長 関係局
		④ 中原区内の交通安全対策等について ・三菱ふそうの用地売却に伴う開発行為の影響 ・横断歩道橋 ・武蔵小杉駅南口の歩行者対策	市 民 ま ち 建 設 中 原 関係局
4	*大庭 裕子	① 武蔵新城駅周辺の環境整備等について ・点字ブロックの設置 ・駐輪場対策	建 設 関係局
		② 小型バスの導入について	交 通 関係局
		③ 生活保護のしおりの改善等について	健 福 関係局
		④ 高次脳機能障害について	健 福 関係局
		⑤ 産後ケア事業等の出産後の母子支援について	こども 関係局
		⑥ 市立高校における定時制等の生徒の居場所づくり等について	経 労 教次長 関係局
5	*原 典之	① 小杉小学校について	中 原 教次長 関係局
		② 等々力緑地について	建 設 中 原 関係局
		③ 中原区における年末警備について	中 原 消 防 関係局

* 印は 一問一答方式

順序	発言者	要 旨	答 弁 者
6	* 菅原 進	① 行財政改革について	市長 財政 関係局
		② 臨海部の活性化について	市長 港 湾 臨 海 関係局
		③ 登戸・向ヶ丘遊園地域の活性化について	市長 ま ち 多 摩 関係局
		④ 川崎国際環境技術展について	市長 副市長 経 労 関係局
		⑤ 平和施策について	教育長 市 民 関係局
		⑥ 多摩川施策について	副市長 建 設 関係局
7	* 山田 益男	① 障害者雇用について	副市長 総 企 関係局
8	* 宗田 裕之	① 市営四方嶺住宅跡地利用について	ま ち 関係局
		② 平瀬川護岸工事について	建 設 関係局
		③ 中原街道の拡幅工事について	建 設 関係局
		④ 久末配水塔跡地について	水管者 関係局
		⑤ 戦争遺跡・蟹ヶ谷分遣隊跡について	市 民 関係局
9	* 廣田 健一	① 食品の安全・安心について	健 福 関係局
		② 生田浄水場の有効利用について	水管者 関係局
		③ 文化財及び民俗芸能について	教次長 関係局
		④ J R南武線の混雑解消について	ま ち 関係局
10	* 花輪 孝一	① 街のにぎわい創出について	市 民 麻 生 関係局
		② 緑陰型公園等の整備について	建 設 関係局
		③ 地域包括ケアシステムの推進について	副市長 健 福 関係局
		④ コミュニティ交通について	副市長 ま ち 関係局
11	* 林 敏夫	① かわさき市民祭りの運営について	経 労 川 崎 関係局
		② 避難訓練の取組について	副市長 総 企 川 崎 危機監 関係局
		③ 自転車の交通事故防止に向けた対応について	市 民 建 設 関係局
		④ 南武支線沿線まちづくりの取組について	ま ち 建 設 関係局
12	* 月本 琢也	① 河川の再生について	建 設 麻 生 関係局
		② 民有地の倒木対策について	市 民 ま ち 建 設 関係局
		③ 公園の活動活性化について	建 設 関係局
		④ 光触媒の活用について	総 企 教次長 関係局

*印は一问一答方式

順序	発言者	要 旨	答 弁 者
13	* 三宅 隆介	① 職員の出退勤の記録について	総 企
		② 外国人専用医療ツーリズム病院について	健 福
		③ 川崎市の都市イメージについて	総 企 環 境 健 福
		④ 小田急線と世田谷町田線拡幅事業について	市 長 建 設 関係局

平成30年第4回定例会一般質問発言要旨(発言順)

平成30年12月19日(水)

*印は一問一答方式

順序	発言者	要 旨	答 弁 者
1	* 山崎 直史	① 世田谷町田線の渋滞対策について	建設 関係局
		② 西生田中学校におけるガスバルクについて	教次長 危機監 関係局
		③ 総合自治会館前の道路横断について	建設 関係局
		④ 災害時等における市有物破損時の対応について	建設 関係局
		⑤ AIの活用について	総 企 関係局
		⑥ 水素ステーションについて	環 境 関係局
2	* 岩崎 善幸	① 自転車の総合対策について ・川崎駅東口周辺の自転車走行環境と駐輪場等整備 ・シェアサイクル、ネットワーク等の自転車対策 ・走行ルール、マナーの向上対策	市長 市民 建設 関係局
		② 防災・減災対策について ・避難所の備蓄品と表示方法 ・自主防災組織への支援等	総 企 建設 危機監 関係局
		③ 私道共同排水設備の修繕等に関する助成制度について	水管者 関係局
		④ 京急八丁畷駅前周辺の整備について	ま ち 建設 関係局
		⑤ 福祉センター跡地活用施設について	健 福 関係局
3	* 岩隈 千尋	① 防災関係の広報物について	総 企 危機監 関係局
		② 市職員の再就職と契約案件について	市長 副市長 総 企 財 政 関係局
		③ 市立高校の整備計画について	教育長 教次長 関係局
		④ 教育委員会の不祥事について	市長 副市長 教育長 市民 教次長 関係局
4	* 片柳 進	① 川崎区京町への大型スーパー出店について	建設 関係局
		② 富士見児童プールの再整備について	総 企 関係局
		③ 教育文化会館及び労働会館等について	経 労 教次長 関係局
		④ カルッツかわさき等の施設の冷房利用料金について	市民 川崎 関係局
		⑤ 小田栄踏切の安全対策及び川崎アプローチ線への対応について	ま ち 建設 臨 海 関係局
		⑥ ヘイトスピーチへの対応について	市民 関係局
		⑦ 川崎市臨海部防災対策計画について	総 企 臨 海 危機監 関係局
5	* 大島 明	① 災害廃棄物について	環 境 関係局
		② 孤独死対策について	環 境 健 福 関係局
		③ 公共施設等の受動喫煙防止対策について	総 企 市民 健 福 関係局

* 印は一問一答方式

順序	発言者	要 旨	答 弁 者
6	* 山田 晴彦	① 学校施設の安全対策について	教育長 教次長 関係局
		② 鷺沼駅周辺における再開発について	市長 副市長 市民まち 宮前 関係局
		③ ワクチンギャップについて	健福 こども 関係局
		④ 投票環境の拡充について	選管 関係局
		⑤ 身元保証人支援について	健福 まち 病院 関係局
7	* 織田 勝久	① 個人情報の扱いと議事録（会議録）の作成の在り方について	総企 健福 関係局
		② 特別支援学校の高等部への進学について	教育長 教次長 関係局
		③ 市営有馬第2住宅敷地内の社会福祉施設関連用地の活用について	健福 まち 関係局
		④ 介護予防について	健福 関係局
		⑤ バス停へのベンチと上屋の設置について	交通 関係局
8	* 石川 建二	① 鷺沼駅周辺再編整備に伴う区役所等の移転の検討について	市長 副市長 市民まち 宮前 関係局
		② 建設労働者の賃金確保策及び暑さ対策について	財政 まち 建設 関係局
		③ 野川南台団地が運行するコミュニティバス「みらい号」への支援について	市長 まち 宮前
		④ 向ヶ丘遊園駅～たまプラーザ駅の運行時間の拡大について	まち 交通
		⑤ 南野川小学校の通学路の安全対策について	市民 建設 教次長 関係局
9	* 浅野 文直	① 犬猫の多頭飼育の把握と指導について	健福 関係局
		② 上下水道工事における設計変更について	水管者 財政 関係局
		③ 土曜日の公共工事について	水管者 関係局
		④ 川崎競馬場の運営、施設整備について	副市長 経 労 関係局

* 印は一問一答方式

順序	発言者	要 旨	答 弁 者
10	* 沼 沢 和 明	① 今後の交通事業の在り方について ・収入確保策 ・休眠路線	副市長 交 通 関係局
		② 横断歩道付近の危険なバス停について	市 民 建 設 交 通 関係局
		③ エレベーターの自転車乗り入れについて	市 民 建 設 交 通 関係局
		④ 公園の注意看板について ・周知 ・今後のスケジュール ・予算	副市長 教育長 建 設 教次長 関係局
		⑤ 聴覚障がい者の緊急通報について	副市長 健 福 消 防 関係局
		⑥ 引き取り手のない遺体について	副市長 健 福 関係局
11	* 雨 笠 裕 治	① 街路樹の対策について	建 設 関係局
		② 等々力緑地駐車場の利用について	建 設 中 原 関係局
		③ 尻手黒川線の整備について	市 長 建 設 関係局
		④ 道路管理用地の売払いについて	財 政 建 設 関係局
12	* 嶋 崎 嘉 夫	① 大師支所及び旧大師保健所の改築について	市 長 市 民 関係局
		② かわさき南部斎苑行きバスの運行整備について	市 長 臨 海 交 通
		③ 認知症検診の導入及び診断医療費助成について	市 長 健 福 関係局

「交渉会派の人数」に関する各会派の見解の要旨

平成30年11月29日現在

各 会 派 の 意 見	
自 民 党	<p>・本市議会は常任委員会を中心として、市政の重要課題に対して審議しており、特に請願、陳情について詳細な調査や議論を踏まえて会派の考え方や意見を表明するには、常任委員会に所属していなければ行うことができない。</p> <p>したがって、会派として市政全体に関する様々な課題に責任を持って取り組むには、全ての常任委員会に委員を選出できることが重要と考えており、また、議員提出議案や修正案の提出の際には議員定数の1/2分の1以上の人数が必要であることから、交渉会派の人数としては、5人以上が適切であると考えている。</p>
公 明 党	<p>・会派で協議したが、交渉会派の人数は、基本的に5人以上とすることでよいという意見であった。</p>
み ら い	<p>・会派に持ち帰り協議したが、本市議会における少数会派への配慮の経過や、交渉会派を定義付ける場合には議会運営の手引きの改正が必要となること、同一会派に所属する5人未満の議員は他の全ての会派が認めない限り無所属とされてしまうことへの懸念など、様々な意見が出ており、現時点では、まだ会派としての意見がまとまっていない状況である。</p>
共 産 党	<p>・我が会派は、議員は住民から選ばれた立場として、住民の意に沿う活動を担保すべきとの観点から、原則として所属議員が1人であっても、会派としての活動を認めるべきであると考えている。過去には我が会派も所属議員が1人の時代もあり、その際にも同様の主張をしてきた。先日、議運で視察した新潟市及び長岡市においても、少数会派に配慮されている状況を確認してきたところである。</p> <p>また、政令市の状況を見ると、交渉会派の人数と常任委員会数は必ずしも一致しておらず、一致しているのは京都市と仙台市の2市のみである。</p> <p>これらのことから、1人会派も原則として認めるべきと考えるが、本市議会がこれまで積み重ねてきた慣習も大切にしたいと考えるため、交渉会派の人数については現状どおりでよいと考える。</p>

「議事説明員の出席範囲」に関する各会派の見解の要旨

平成30年11月29日現在

各 会 派 の 意 見	
自 民 党	<p>・選挙管理委員会、監査事務局、人事委員会、市民オンブズマンの事務局長や会計管理者は、他の局長と比べて答弁の回数が非常に少ないため、市や国が進める働き方改革の推進に議会として協力するという観点から、一般質問や予特・決特については、区長と同様に、通告があった場合のみの出席とするよう見直すべきであると考えている。</p>
公 明 党	<p>・概ね自民党の意見と同様であり、自身の職場で自身の業務を行うことが基本であると考えているので賛成の立場であるが、一律に区切るのではなく、議員からの質問が想定される場合は出席するという対応も考えられるのではないかと の意見もあったことを申し添える。</p>
み ら い	<p>・会派に持ち帰り協議したが、選挙管理委員会事務局長と宮前区長の答弁機会が同程度であること、監査の立場から議会における議論の内容を把握する必要性、働き方改革の考え方に対する配慮、運用による対応も考えられるのではないかと いった意見など、様々な意見が出ており、まだ会派としての意見がまとまっていないため、他の会派の意見も持ち帰り改めて協議したい。</p>
共 産 党	<p>・提案内容のとおり、区長と同様に、通告した場合の出席とするよう見直すことに賛成の立場である。</p>